

## 雑木林畑隊&応援隊・活動報告

### プロジェクトからのおたより

#### 畑隊

#### 小野寺 拓郎

##### 古代モロコシ

「森」の中の畑で、このモロコシを栽培してから6~7年になりましょうか。表記の品名は通称で、種を持ちこまれた方にも正確にはわからないようです。ただ、TVで放映された南米の山岳地帯でよく似たモロコシが栽培されていました。

普通のモロコシは、鳥や小動物の好物で、それが耕作者を悩ませることになります。このモロコシに限っては虫害以外はほとんどないという特徴があります。果実はアズキ色で小型、食味はやや固めで甘味も薄いようですが、収穫期に他の生物に横取りされないモロコシとして貴重であると言えます。



##### ナンバンギセル

畑隊では昨年、フキ畑を荒らすミョウガを移植しました。これはフキの生長を助けるためですが、ここで問題になったのはミョウガに寄生していたナンバンギセルの処遇です。このキセルがミョウガと一緒に移植可能か否かでしばらく意見の不一致がありました。

一年後、移植したミョウガ畑にキセルが根付いたかどうか、移植可能を唱えた側として懸命に探したのですが見当たらず、その身代わりのようにヒガンバナが一輪。移植されて絶えたキセルの怨念めいた朱色になんとも気味悪い思いをした数日後、やっと念願のキセル(写真)を発見し、フーッと一息つけました。

それにしても、これまで1本もなかったヒガンバナが、なんで移植した場を選んで現れたのかな?

#### 応援隊

#### 飯田 雅俊

##### 井戸掘り

予ねて懸案であった井戸掘りを始める。ムジナの里には水がなく、作業の日には20Lポリタンクを2個あるいは3個を作業道具と一緒に運んでいた。飲み水にはならなくとも手を洗ったりできればと考えた人もいたかもしれないが、それよりも井戸を掘ってみたいという気持ちが一番強かったのではないかなと思う。

インターネットに掲載されている井戸掘りの情報をやり取りしたり、塩ビパイプで井戸掘り道具の先端部を製作して持ってきた人もいた。事前の調査として、このあたりで工事をやっていないか、工事を行ってれば地質調査が行われているのを探した。ボーリング柱状図を手に入れることができた。場所は北緯、東経で表せており、地図で調べると会員が畑をお借りしている近くの田んぼであった。-1.0mまでの削孔したデータであり、地下水位が-1.5m、表土、シルトと続き、-1.6mより砂層、-6.0mより1.5m間は貝殻混じりの中砂、それより以深はまた砂となる。硬さは-3.0mより閉め固められた固い砂地盤となっている。礫等がないので掘れると判断した。

しかし、井戸掘りにどれだけにかかるのか、ムジナでの作業予定を考えて躊躇して1年が過ぎた。夏から始めて秋の初めてで形をつければ、後はムジナの作業をと並行しておこなえば秋には完成予定と思った。

(つづく)



# 里山観察隊・活動報告

## 探虫会

小林 浩

9月20日(曇り)里山観察隊ではこの日夕方6時より1時間余り、探虫会を催しました。場所は神谷小学校下の草原です。入口近くでは学校の桜の木にアオマツムシがたくさん鳴いていました。坂を降りてゆくと今度はスズムシが鳴いており、写真に撮ることが出来ました。草原に入るとカンタンがクズの繁みのあちこちに鳴いており感激。更にゴルフ場に近い林縁では、クツワムシ、ハヤシノウマオイなども鳴いておりました。

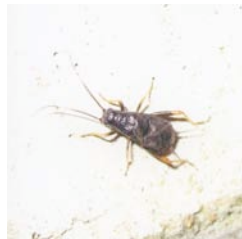
帰り路、足元にはエンマ、ツツレサセ、ハラオカメなどのコオロギの声、そしてケラも土の中からジーンと鳴き合っているのがきこえて来ました。まさに鳴く虫の共演のひとつときを楽しみました。一緒に参加して戴いた榎本さんには色々ご指導いただき、良い写真をとることが出来ました。



クツワムシ



クマズムシ



クマズムシ



スズムシ



ハヤシノウマオイ

## 里山の可憐な花に迎えられて

高野 美栄子

秋の里山の湿地と林縁の植物という事で遠山の谷津田を歩く。今回は奥まで歩いた。此処で、オオバクサフジとトリカブトが有ったからだ。残念ながら、オオバクサフジの方は種になっていたが、林縁より奥に見事なトリカブトとワレモコウが咲いていた。秋晴れの心地良い天候に恵まれ、ゆったりと、観察しながら歩く。

キバナアキギリは遠山では初めて。1番最盛期は、ヤマハッカ、良く似たアキノタムラソウの花の違いをMさんが説明する。唇弁の淵が内側に巻いて、舟のへさきようになり、雄しべと雌しべを包んでいる。アキノタムラソウは大口を開けたカバのようだとある。花冠の外側には白い毛が多い。同じしそ科だが巧妙につくりを変えて、私達を驚かす。タデ科の植物も良く似ていて、区別するのに、苦労する。いま田んぼの辺を賑わしている、ヨメナやノコンギク、ユウガギクなど区別の付きにくい植物も多い、ヒメジソとイヌコウジュ、アシボソかアシカキか。ルーペをみたり、図鑑を引いたり参加された、皆さん一生懸命に花の同定をする。

観察眼のするどい、Nさんがヒナタイノコズチ(下写真)の花が咲いていると教えてくれた。どこにでもあるしたいして良く見ていなかったもので、これには感動しました。レットデータだと一生懸命になるのですが、タコボウなどなど普通にあるので当たり前と思っていたのでこれも少なくなったという話を聞くと改めて牛久の自然の素晴らしさを見直した次第でした。本当に今有る植物達は、10年後、20年たつとどのように変わっていくのでしょうか。それでも秋風にそよそよと私達を招くように沢山の花に出会えた充実した観察会になりました。他に見られた主な植物、ナンバンキセル、フユノハナワラビ、ツリガネニンジン、タイアザミ、ノハラアザミ、カシワバハグマ、キクモ、ウマノスズクサ「ジャコウアゲハの幼虫」ヒレタゴボウ、アカバナ、ヒヨドリジョウゴ、ミゾソバ、アキノウナギツカミ、ガマズミの実など。



ヒナタイノコズチ

次回11月11日(第2土)「里山の木を果実を見る」  
城中地区得月院駐車場9:00~12:30(集合時間に注意)  
図鑑、ルーペ、水、歩き易い服装、弁当(時間のある方)  
問い合わせ:029-873-6562(高野)

## ホタルの観察会に参加して

田澤 七郎

昨年に引き続き今年もホタルの生息環境調査に参加しました。これについて、私の感想を少し述べたいと思います。まず、全般的に見て、地域や観察時の天候及び時期などによって、数値の変化が出てくるのは当然として、これを厳密にしたいとするならば、特定の地域の長期間にわたる連続した定点観測が必要でしょう。ただ年々減少しているといっても、奥原、井の岡、遠山などの一部では、まだまだその数が多く見られたことは大きな希望でした。谷津田をとりまく森林の減少、流れ込む生活排水、工業排水や農薬（特に除草剤）の使用など問題は多くありますが、なんとかこれ以上、自然が喪失されないことを願うばかりです。余談になりますが、今年の作業に参加して勉強になったことが一つあります。それは地図を良く見ることによって、ある程度ホタルの存在が予測出来るということです。今回の井の岡がその好例でした。



## <巨木リサーチ事業>

### 活動中間報告会を終えて

増田 勝彦（総務）

さわやかに晴れた秋分の日、巨木リサーチ事業活動中間報告会を、牛久市中央生涯学習センターで開催、事業メンバーのうち24名が参加した。4月23日の設立顔合わせ会から5ヶ月目を迎えての活動の確認・総括と反省がテーマである。この間の調査は15箇所、対象木29本に亘り、発足当初こそ雨にたたられたがその後の活動は晴天に恵まれ、順調に予定をこなしている。

事業の目指す目標は、「巨木・古木・希少木の調査とその（市民への）公表」である。計測・写真・伝言歴史の3班全員で、総数31名を擁し、内公募メンバー約1/3、後はうしく里山の会会員であるが、メンバーの活動意識は高い。

当事業は市との協働事業であり、月に一度、担当課と定期打合せをしているが、NPOの我々が不足する部分を市にバックアップしてもらい、その代わりに知識と労力を提供すると、双方の連携も緊密である。23日には、総務内に研修・行事グループを新しく設けた。今年度行事予定は、11月に日帰り研修旅行、続いてメンバー全員による年末懇親会、年度末の写真展・総括報告会で設立1年の活動を終える。総務-研修グループは、これから多忙な時期を迎える。

### 今月の巨木「八幡神社のエノキ」

毎月「巨木・古木・希少木リサーチ」の対象になった地域の銘木をお伝えします。（巨木リサーチ：総務）

樹高 17m  
幹周 3.90m  
樹齢 推定400年

所在地 牛久市東端穴町446-1（八幡神社内）

美しく分かれた小枝が特徴で、落葉する高木です。春にうすい黄色の花を咲かせ、秋には長い柄をつけた丸い甘い実をつけます。小鳥が好んで食べにきます。

この木は、枝が広がって日陰をつくり、よく目だつので、街道の一里塚に植えられました。この神社の木立は、旧小野川村（現つくば市）からも見えて、よい目じるしになりました。  
—「市民の木」案内板より—



写真撮影：臼井英雄

## 牛久自然観察の森 平成18年度前期施設利用まとめ! 報告:チーフコーディネーター齊藤 孝

指定管理者1年目の前期(4月~9月)が終了しましたので、施設利用に関してご報告します。まずは入園者数から。(数値は、バッタ原正門と梅林に設置した入園者無人計測器の値です。)

4月:3637名、5月:4930名、6月:3633名、

7月:3877名、8月:5087名、9月:5419名、 前期合計:26583名。

観察の森の年間平均入園者数は約35000名ですので、今年度はこの数値を上回る勢いです。

続いて主催行事は、実施回数106回、2359名参加。学校・団体ガイドは、51団体、2496名にガイド提供。

施設ボランティア活動は、86活動、462名参加。セルフ利用の一般団体利用は、145団体、2333名利用。

4月の桜、5月のフクロウ、6月のホタル、小学校対応、7月&8月の小学生サマースクール、9月の鳴く虫と、半年間駆け抜けてきた感じですが、これから後期は里山保全活動の本格的なシーズンを迎えます。行事・ボランティアへの参加をお待ちしています。そして、ほぼ毎日更新しているHP「インタープリター日記」も是非ご覧下さい!

## 牛久市環境フェスタに出展

10月7日、中央生涯学習センターにおいて牛久市の環境フェスタが開催されました。参加団体は、環境関連の団体(アサザ基金、つくば環境フォーラム、エコライフの会等々)と企業(東京ガス、カスミ、いばらきコープ等々)。それぞれが地球環境にどれだけ貢献できるのかといった内容が主体で、どのブースも興味深い充実した内容で一杯でした。会場となった多目的ホールも年々手狭になる感じがしました。観察の森が1ブース、うしく里山の会は2ブースを頂き、活動内容をパネル展示しました。今回は巨木リサーチ、里山観察隊(ホタル調査)、雑木林応援隊、アヤメ園再生事業、ありんこクラブが出展、多くの見学者が足を止めて見入っていました。特にありんこクラブの協賛金グッズは好評で、木炭と藍染めのコースターが直ぐになくなり、フクロウのマスコットとストラップも僅か残すのみとなりました。(坂 弘毅 記)



## 牛久自然観察の森・里山交流祭行事

### 小野川クリーンアップ作戦に参加しました

10月9日、観察の森の里山交流祭の一環として小野川のクリーンアップが行われました。小野川はビートルズトレイルで普段からお世話になっている河川で、とても愛着があります。雲一つない青空の下、石神園長、齋藤チーフコーディネーター、それにうしく里山の会メンバーを含む一般市民10名が集合。長靴、手袋、ゴミばさみ、リヤカーも集合。結束町の西のはず



れからスタートして道沿いのゴミをくまなく収集しながら、小野川土地改良区の記念碑先から小野川に出ました。先日の大雨で増水した川は、上流から多くの資源ゴミ(PETボトルや空き缶)や粗大ゴミを運んできたようです。中型の冷蔵庫1台と資源ゴミ、それに一般ゴミでリヤカーは直ぐに一杯になりました。クリーンアップ隊は土手を東に向かい、豊年橋から市道を南下、再びビートルズトレイルに入り、森の周囲を回ってネイチャーセンターに到着。総行程7kmを約2時間かけたクリーンアップは無事終了しました。リヤカーに山盛りとなった収集ゴミは約100kg!市担当課の協力を得て、適正に処分したいと思います。(坂 弘毅 記)

## 今月の運営委員会よりおしらせ!

平成18年10月15日

&lt;議席数18名のうち10名出席。1/2以上の出席&gt;

## 1. 活動中の「危険」について考える一研修のお知らせ

主催：巨木・古木・希少木リサーチ事業&lt;牛久市協働事業&gt;

里山を歩くと、どこからともなくハチがブーンと飛んできたり、又秋空を眺めて歩いていると、木の根っこにつまずいたり、自然は常に危険と隣り合わせです。当事業では、活動中の“いろいろな危険”について考える、メンバー研修を行います。一般の方の参加も歓迎します。(総務一増田)

行事名：KYT・危険予知トレーニング

日時：平成18年11月25日(土)、9時半～10時半頃

場所：牛久市中央生涯学習センター 中講座室

講師：阿部真奈美さん(巨木事業メンバー)、イラスト作成：丸山まさこさん(会員)

対象：会員・一般

申込：参加は自由です

お問い合わせ：巨木総務一増田まで(会代表アドレス u\_satoyama@infoseek.jp)

## 2. 来年度の事業計画作成に向けてご意見を募集しています

これからが里山シーズン・・・という気もいたしますが、平成19年度の事業計画の作成に着手します。会全体や各事業への要望、また相談などお気軽に運営委員会(理事、各プロジェクト代表、観察の森職員[齊藤、渡邊]、会アドレス[阿部] u\_satoyama@infoseek.jp)までお聞かせください。作成スケジュールは以下のとおりとなっています。

11月：事業計画作成 → 12月：各事業計画を運営委員会で審議 → 1月：各事業計画を承認

## 3. ハチにはご注意ください

先月のお知らせで各プロジェクトごとに救急箱を用意しますとお伝えしましたが、ハチなどに刺された際、毒液の吸い出しに使用する救急用品「ポイズンリムーバー」を会で一括購入し各プロジェクト代表に配布しました。

しかしながら、使用しないことに越したことはないの、みなさんハチにはくれぐれもご注意ください。

## 牛久・里の植物園で初めての稲刈り

9月25日、アヤメ園内に今年併設した「牛久・里の植物園」で初めての稲刈りを行いました。今年5月、10坪ほどの小さな田んぼを作り、無農薬で、人手で除草しながら稲の生育がどのようになるのかを検証しながら実りの秋を迎えました。肥料も十分でなかったのですが、見事に収穫、大きく実が入りました。この植物園は田んぼの他、水生植物園、湿地植物園、畑の植物園、路傍の植物園とコーナーがあり、小さな池の中には絶滅危惧種の「メダカ」が次々と卵から孵り、最良の自然環境が出来上がりました。この植物園には近くの小中学校の総合学習の目玉となり、アヤメ園に来る来園者の年齢構成が大きく変わったのも特筆すべき事柄となりました。

そして秋晴れの今日、アヤメのメンバー全員で稲刈りを行い、僅かですが農家の苦労の一端を垣間見る思いがしました。そして小田がけです。日本の原風景と言える秋の風物詩「小田がけ」がアヤメ園の中突然の出現に散歩で行き交う人たちに評判となっています。(坂 弘毅 記)



# 11月の里山カレンダー

※活動日は都合により変更になる場合がありますので、ホームページ等でご確認ください。

日	月	火	水	木	金	土
			1 ○雑木林畑隊 9:30畑	2 ○アヤマ園 (受) 8:00アヤマ園P	3 文化の日 ○雑木林畑隊 9:30観察舎畑	4 ○じゃがいもP 9:30畑
5 ○巨木古木リサーチ(受) 8:30得月院P	6 (休園日) ○アヤマ園 (受) 8:00アヤマ園P	7 (休園日)	8 ○雑木林畑隊 9:30畑	9 ○アヤマ園 (受) 8:00アヤマ園P	10 ○雑木林畑隊 9:30観察舎畑 ○ありんこ集計 12:30NC	11 ○里山観察隊 9:00得月院P (会報等原稿×切)
12 ○雑木林応援隊 9:00ムジナ ○里山聞き取り 9:00NC	13 県民の日 ○アヤマ園 (受) 8:00アヤマ園P	14 (休園日)	15 (休園日)	16 ○アヤマ園 (受) 8:00アヤマ園P ○雑木林畑隊 9:30畑	17 ○雑木林畑隊 9:30観察舎畑	18 ○そばP 9:30畑
19 ○運営委員会9:00NC ○広報11:00NC ○巨木古木リサーチ(受) エコツアー 8:30市役所玄関	20 (休園日) ○アヤマ園 (受) 8:00アヤマ園P	21	22 ○雑木林畑隊 9:30畑	23 勤労感謝の日 ○アヤマ園 (受) 8:00アヤマ園P ○雑木林応援隊 9:00炭小屋 (炭焼き～25日)	24 ○雑木林畑隊 9:30観察舎畑	25 ○巨木古木リサーチ(受) 研修 9:30牛久中央生涯 学習センター
26 ○雑木林応援隊 9:00コジュケイ ○さとやまがっきゅう 集合場所時間未定	27 (休園日) ○アヤマ園 (受) 8:00アヤマ園P	28 (休園日)	29 ○雑木林畑隊 9:30畑 会報発送作業NC	30 ○アヤマ園 (受) 8:00アヤマ園P		

森：観察の森， NC：観察の森ネイチャーセンター， (受)：受託事業， P：駐車場， (休園日)：観察の森休園日

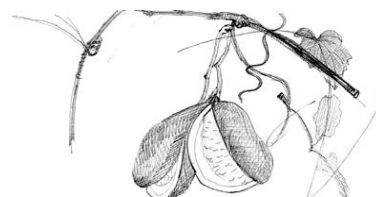
## 会報原稿募集中！

会報「さとやま」の原稿を募集しています。各プロジェクトや特別事業からの報告、「さとやま」にふさわしい情報などをお送りください。

原稿は400字詰め原稿用紙2枚(A5)、または4枚(A4)の分量でお願いします。テキスト(手書き可)をメール、または郵送でお送りください。写真がある場合はプリントまたは画像ファイルもお送りください。(写真を含む記事はそのぶん文字数を減らしてください。)記事送り先は下記です！

牛久自然観察の森 久保庭敦男  
 メール skyranger-mori@u-satoyama.jp  
 300-1212  
 牛久市結束町489-1 牛久自然観察の森

## 編集後記・・・



うしく里山の会って不思議な集団です。元々違う活動をしていたグループが地域の豊かな自然と知恵を次代へ継承しようという一つの理念でまとまってそれぞれ活動しています。他にはあまりみかけない集団です。いくつもの切り口があって、それぞれいろいろなノウハウを持っている集団です。これって、すごいことです。

会報上でそれぞれの経験が活発に交流し、共有できたら、いよいよすごいパワーになると思います。使い次第でこの会報という道具、かなり利用価値が出てきます。ムツカシイんですけどね。その現場に立ち会いたくてもうろうろしています。

丸山まさこ

次号(12月号)の印刷発行は11月29日午後を予定しています。お手伝いいただける方を随時募集してます！  
 編集担当者にご連絡ください。よろしくお願ひします。

会報さとやま 2006年11月号(発行・NPO法人うしく里山の会)  
 事務局 300-1236 茨城県牛久市田宮町808-20 電話029-801-2500(代表 坂弘毅)